

5

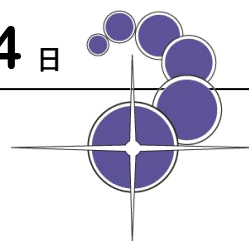
CREATIVE

学年だより

第15号 令和2年6月24日

県立村上中等教育学校 (15期生)

●5学年リレーエッセイ 第2弾!



みなさんは、アンナプルナという山をご存知ですか? ヒマラヤ山脈の中央部にある世界で10番目に高い山です。このアンナプルナ周辺には多くのトレッキングルートがあり、毎年多くの観光客が訪れます。私が、このアンナプルナ・トレッキングにチャレンジしたのは2015年の年末でした。成田からバンコク経由でネパールの首都カトマンドゥまで約7時間。さらに西に200kmほど行くとポカラという風光明媚な街に至ります。そこから、タクシーで登山口に向かい、フェディという集落からいよいよ五泊六日約100kmのトレッキングが始まります。はじめは牧歌的な田舎道が続き、どこにいても常に聖山マチャプチャレが目に入るという絶好の展望のなかでの旅路です。3日目くらいからはモディコーラ(モディ川)沿いの渓谷を歩きます。ここまで来ると人家はなく、眼前にそびえる高峰グレイシャードームに向かい歩を進めます。4日目には目標であるアンナプルナ・ベース・キャンプ(略称ABC)に到着。ABCは標高4130mにあるので、高度障害もおこります。私は体質が合ったのか、ゆっくり順応しながら上がってきたからか、はじめのうちに少々頭が重くなった程度で済んだのは幸いでした。

ABCに着いたときは、あたりは一面霧の中。アンナプルナはおろか、100m先も見えません。しかし、夕暮れのころには風が霧を吹き飛ばし、マチャプチャレが1年最後の落日を受けて、真っ赤に輝く威容を見せてくれました。その荘厳な景色は、人為の及ばぬ超越的な厳粛さに満ちあふれ、この山が霊山として崇められる理由を実感できます。

年が明けた元日は夜明け前から快晴。昨日は見えなかったアンナプルナ1峰もはっきり見えます。初日の出を受け、黄金に輝くアンナプルナの雄大さは、世界の屋根ヒマラヤの名に恥じぬ堂々たる光景です。言葉も出ずに、ただただ眺めるしかできなかったあの時の高揚感こそが、私が旅を続ける原点なのだと思います。

トレッキングのすすめ

文・写真 奥山 脩 (2組担任)



眺めるしかできない でも、そのために一步を踏み出してほしい



ヒマラヤ・トレッキングというと、大荷物を背負った命がけの冒険をイメージしませんか？実際は、全くそんなことはありません。ルート上には10kmくらいごとに数軒のロッジがあるので、テントや水や食料を持ち歩く必要はありません。当然のことですが、山のなかでするので食事や水の値段は、平地より高くなります。しかし、ネパールの物価自体が安いので、私たちから見れば非常にリーズナブル。荷物も財布も軽やかに、大自然を楽しみながら歩くことができます。それがヒマラヤ・トレッキングです。



Source : Google Earth

道中にあるロッジの予約はできませんので、基本的に早い者勝ちになります。しかし、私が行った時期はハイシーズンからはずれていたこともあり、どこにも泊まれないということはありませんでした(部屋がとれず、食堂で寝させてもらったことはありますが)。一泊が大体100~150ルピーほど(当時のレートで1ルピー=約1円)、食事も一食500ルピーほどなので、1500ルピーも出せば一泊二食を確保できます。しかも、だいたいこのロッジでは「ホットシャワーあります」の看板が掲げられ、運がよければ熱いシャワーも使えます。まあ、大体、夕方には温水が無くなり、冷水に震えながら汗を流すことにはなりますが(笑)。また、「WiFiあります」の看板も多かったですが、全然速度が出ず、実用的ではありません。しかし、こうした不便もまた旅の楽しみと言えるでしょう。

トレッキングに限らず、旅の醍醐味のひとつに人との出会いがあります。ABCトレッキングでもたくさんの出会いがありました。ロッジのお兄ちゃんとはビールを飲みながら「なんで俺たちは結婚できないんだ？」という話で盛り上がり、食堂で寝たときに一緒になった韓国人の青年とは「綾瀬はるかがかわいい」という話で笑いあい、別のロッジで知り合ったグルン族のガイドさんにはネパールの焼酎ロキシーをおごってもらいました。ガイドさんはお母さんが日本人なので日本語はベラベラだし、イギリスのグルカ旅団にいたので英語も堪能。いろいろな話を聞かせていただき、得難い経験ができました。

わずか1週間足らずの短い旅でも、目にするもの、耳に聞くもの、食べるもの、すべてが新鮮で、毎日何かに感動できました。紙幅の関係でここでは書ききれませんが、カトマンズ観光やネパールの食事、長距離バスや交通事情など、本当に充実した旅でした。

みなさんも本校を卒業したら、ぜひ勇気を出して踏み出してください。その先には、想像もできないくらい広い世界が広がっていますよ！



トレッキングのすすめ

文・写真 奥山 脩 (2組担任)